

平成19年度 第2回 10月 音羽コミュニティ便り

京都市立音羽小学校
学校運営協議会
会長 河村 政次
学校長 田上 恭史

10月に入り、すっかり秋めいて参りました。肌寒さを感じる頃となりました。

10月12日(金)午後7時より第2回推進委員会を開催することができました。理事様はじめ各推進委員様合わせて60名の方々の参加を得て、行うことができました。

今回は、ふれあいホールに6つの推進委員の方々が一堂に会し、右のような流れで行いまし

第2回 学校運営協議会推進委員会

午後7:00~8:00

- 全体会
 - ・会長挨拶
 - ・各推進委員会より中間報告
 - ・研究発表の持ち方について
- 各推進委員会
 - ・今後の方向の話し合い
- 理事及び推進委員会報告者で報告会



他の推進委員会の活動を知るよい機会となりました。

福祉・地域活動推進委員会 ~ふれあいを大切に~

【中間報告内容】

○教職員の夏の研修で「作業所への見学」ができた。
教職員が作業所に働く人たちやそのシステムについて学べたことは子どもたちへ伝えていくための大きなステップとった。

○「安全マップ作り」で車椅子体験を実施した。

安全活動推進委員会とリンクした活動として、福祉の立場から地域を見る活動ができた。

○「保小連携」が順調に進行中である。

入学前から、互いに知り合える環境作りは有効である。(永興小金塚保育園と連携)

【今後の活動や意見】

○「ふれあい広場」では、和太鼓部が和太鼓の演奏、6年生がキャリア教育で各ブースのお手伝いと地域とのふれあい活動を進める。

○「ふれあい昼食会」では、3年生が踊りを披露し地域のお年寄りの皆さんとふれ合う活動を行なう。

○3年生・4年生が地域の老人会や婦人会の方との連携の中で七輪体験や地域の昔の話を聞く体験など、地域を知る活動を考えている。等

安全教育推進委員会 ~みんなで守る。子どもの安全~

【中間報告内容】

○7月に4年生が「トンネル見学」を行なった。
地域の交通環境の変化を児童に体験してもらうよい機会であった。

○「安全マップ作り」に6年生が取り組んだ。

見守りの方や地域委員さんの協力を得て自分たちが住む地域の危険箇所などの確認を行うことができた。

○「子ども110番の家」の確認を行なった。

地域委員さんの協力で集団下校の際にできた。毎年、年度当初に学校・PTA・地域の連盟で挨拶・願書を出し「安全マップ」と連動した活動を行なうことが大切だ。

【今後の活動や意見】

○「安全推進」という仕事は事故がなくて初めて成果といえる大変な仕事である。子どもを守るのは親自身であるという観点からPTAも含めて増員していく必要がある。その中で安全マップを活用した有効な人員配置をしていきたい。

○「新1年生の入学」に向けて、見守り隊とともに通学路を歩くという活動をしてみてはどうだろうか。

読書活動推進委員会 ～ボランティア活動を活発に～

【中間報告内容】

○「日常のボランティア活動」の中で児童へ図書ナビを使って本の貸出し・返却の世話や図書室内の整理・掲示など、連携を取り合っている。

○6月に「選書会」を行い、児童が学年ごとに図書室に入れてほしい本を選ぶ活動の補助を行なった。

○「図書活動推進校(嵯峨小学校)への見学」を実施し、音羽小学校の読書活動に参考となる活動を学ぶことができた。

【今後の活動や意見】

○「図書活動の推進校(嵯峨小学校)に学んだこと」を生かしたい。

- ・パート別に仕事を分ける。(飾り・読み聞かせ・整備)
- ・OBによる読み聞かせ会

○「婦人会との連携」を図る。(あや取り・折り紙・読み聞かせ・昔話など一緒に遊んでもらう活動)

○まとめ役(責任者)を決め、組織的な動きを作る。

○他の保護者にも呼びかけボランティアを増やす。等

環境教育推進委員会 ～環境に敏感な子どもを育てよう～

【中間報告内容】～環境に敏感な子どもを育てよう～

○「花いっぱい運動」で春から夏にかけて咲く花の苗を学年ごとにプランターを割り当て、植える活動をした。現在も美しく咲いている。

○「緑のカーテン」に取り組み、2校舎と4校舎の一部に網を張って朝顔のつるをはわせて、直射日光を遮断する取り組みを行なった。

○5年生が総合的な学習で、「地球温暖化」に取り組み、区役所などの協力を得ながら省エネやゴミの分別など様々な環境問題について調べ学習に取り組んでいる。この取り組みに環境教育推進委員会も関わっていく。

【今後の活動や意見】

○「花いっぱい運動」を今度は冬から来年の春に向けて楽しめる花の苗や球根を学年ごとに植える予定をしている。

○来年度も「緑のカーテン」に取り組み成功させたい。

○地域で行っている廃油回収にも関わっていきたい。

人権国際理解教育推進委員会 ～子どもたちの人権感覚を磨こう～

【中間報告内容】

○「英語教育」では、ALTの外国人の先生と担任、地域の英語のボランティア方と協力し、聞く・話す活動を中心に学習している。ゲームを通して親しむ内容となっている。また、コミュニケーション能力の育成にも力を入れており、自ら働きかける力を育てたい。

○「人権教育」は、年間を通して行っており、「仲間の日」と称して学級活動の時間に人権に関わる授業を行ったり、憲法月間や人権月間には、人権標語に取り組んだり、音羽中学校校の学校と人権作品の交流なども行なったりしている。

【今後の活動や意見】

○今年度「英語活動教室」を4校舎2階に設置した。英語活動の幅が広がると思う。

○国際理解教育として2年生では、1月頃にモンゴルのお話を聞く予定で、馬頭琴という楽器に触れたりモンゴルの民族衣装を着せていただいたりする機会を持つ。

6年生には中国の楽器二胡の奏者に来ていただきその音色を聞かせていただいたり実際に弾かせていただいたりする。

○NPOの国際親善協会なども活用し、多くの機会を子どもたちに与えたい。 等

チャレンジ活動推進委員会 ～チャレンジ精神を育てたい～

【中間報告内容】

○理科大好き事業の取り組みである「須磨海浜水族園の見学」「理科施設見学会」など親子で楽しむ見学会を行い、児童の理科への関心を高めることができた。

○「漢字の秘密を探ろう」の呼びかけには予想以上の参加があり親子で漢字学習について考える機会が得られた。1年生から6年生まで一緒に行なった点においては、高学年の方が物足りない点があったと思う。来年度は、もう少し考えていきたい。

【今後の活動や意見】

○11月2日(水)に「漢字検定」、1月18日(金)に「数学検定」を実施する。いずれも希望者のみだが参加人数も多数集まる予定である。数学検定については、検定を受ける前に学習会(冬休み)をチャレンジ活動推進委員の方の協力を得て行なう。

○1月12日(土)は「万華鏡を作ろう」の取り組みを行なう予定である。

○リレーカーニバルへの参加(体育振興会より)や大文字駅伝に向けての練習なども行なっている。 等

推進委員会を終えて

それぞれの推進委員会が、目的を持って取り組んでいた様子がよく分かりました。今後は、各推進委員会独自の活動と互いの活動がリンクし協力体制をとっていける形を組織的増やして以降と思います。